

平成30年4月2日

(広報資料)



京都市伏見区役所
深草支所・醍醐支所
〔担当 地域力推進室企画担当〕
電話 611-1295 (直)

平成30年度伏見区区民活動支援事業について ～対象事業の募集～

伏見区では、自分たちの地域を暮らしやすい魅力あふれるまちにしていくため、区内でまちづくり活動を実施される団体・グループに活動経費の一部を支援する「区民活動支援事業」に取り組んでいます。今年度も、下記のとおり対象事業を募集しますので、お知らせします。

詳細につきましては、伏見区役所・深草支所・醍醐支所・神川出張所・淀出張所等にて配布又は区ホームページに掲載する募集案内を御覧ください。

記

1 支援対象となる事業

伏見区内で実施する下記の「伏見区基本計画取組目標」のいずれかに該当する事業

【伏見区基本計画の5つの取組目標】

1. 循環型社会の要を担い、環境共生・低炭素社会の魅をめざします
2. 自然と歴史がいきづく地域の魅力を学び、発信します
3. 伏見力を活かし、「新しい京都」のまちづくりを牽引します
4. 地域のコミュニティが人を育み、すこやかな暮らしを支えるまちをめざします
5. 安心安全で、人にやさしい便利なまちをめざします

明治150年に関連する取組の申請をお待ちしています！

今年は、明治改元から150年の節目の年です。本市では、京都が維新で都の地位を失い、都市衰退の危機に直面した困難な時代を市民ぐるみで乗り越えたその歩みを振り返り、学び、未来に活かしていくため、「明治150年・京都のキセキプロジェクト」を推進しています。伏見区区民活動支援事業においても明治150年に関連する取組（例：講演会やまち歩き等）の積極的な申請をお待ちしています！

ただし、上記のいずれかに該当する場合でも、学区まつりや学区民体育祭など地域で既に恒例となっている事業、政治・宗教・営利（活動）を目的とした事業、公の秩序又は善良の風俗に反する事業は支援対象となりません。

2 支援対象となる団体

伏見区内で支援対象となるまちづくり活動を実施し、活動終了時まで責任をもって遂行できる団体・グループ
(ただし、申請は、一団体・一グループ当たり、一事業のみ)

3 募集期間

平成30年4月9日（月）～平成30年5月11日（金）必着



4 支援内容

①一般枠

補助金交付額 上限**60万円**（必要事業経費の**2分の1以内**）

（京都府の地域力再生プロジェクト支援事業交付金を併用することで、自己負担を軽減することができます。）

②小規模枠（重点支援事業を含む）

補助金交付額 上限**15万円**（必要事業経費の**5分の4以内**）

（上限の範囲内で、ボランティアスタッフの労力を金額に換算し、補助金交付申請額に加算することで、自己負担を軽減できる場合があります。）

《重点支援事業》

小規模枠事業のうち、以下の重点課題の解決を主な目的とし、かつ学区レベルなど広い地域への効果が見込まれる事業については、「重点支援事業」に位置付け、優先的に採択します。

平成30年度重点課題

- 子どもの貧困対策等（子ども食堂、子どもの居場所づくり等）
- 健康長寿（ロコモ予防セミナー、健康ウォーキング、体操教室等）
- 地域防災（避難所運営図上演習、自治連合会・自主防災会とPTA合同の講演会等）

※①、②とも、一事業に対して、最大2回まで支援を受けることが可能
（年度ごとに申請が必要）

5 選考方法

6月15日（金）に開催予定の審査会において、応募事業の審査を行います。その審査結果を踏まえ、区長が採択事業を決定します。なお、一般枠は、審査会でのプレゼンテーション（事業説明）を必須としますが、小規模枠は、原則書類審査のみとなります。

6 お問い合わせ、書類提出先

伏見区役所地域力推進室まちづくり推進担当（TEL611-1144）

深草支所地域力推進室まちづくり推進担当（TEL642-3203）

醍醐支所地域力推進室まちづくり推進担当（TEL571-6135）

※書類提出の際は、お電話等で御予約のうえ、御来庁ください。

～夜間相談会を開催します～

日時・会場 （事前申し込みは不要）

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 4月19日（木）午後6時30分～午後7時30分 | 醍醐総合庁舎3階会議室 |
| 4月20日（金）午後6時30分～午後7時30分 | 伏見区総合庁舎1階ロビー |
| 4月24日（火）午後6時30分～午後7時30分 | 深草総合庁舎4階会議室 |
| 4月26日（木）午後6時30分～午後7時30分 | 伏見区総合庁舎1階ロビー |

7 過去の取組について

これまでの同事業を活用したまちづくり活動事例については、「伏見区区民活動支援事業活動事例集」に掲載しております。同事例集は、伏見区役所・深草支所・醍醐支所・神川出張所・淀出張所等にて配布するとともに区ホームページに掲載しています。活動の参考に、ぜひ御覧ください。

1 観光振興事業

(平成29年度の実績)

- ① 大政奉還150周年記念「大政奉還から鳥羽伏見の戦いへ」をテーマにした講演会やまち歩きを開催

開催日	参加者	内容
10月7日(土)	350名	【「大政奉還、鳥羽伏見の戦い」150年前の伏見を探る】をテーマに講演会を開催
10月21日(土)	41名	【鳥羽伏見の戦いと東海道57次宿場町に行く!】をテーマに、京阪ホールディングス株式会社と共催でまち歩きを開催

- ② 地元の既存イベントとタイアップした観光客の誘客イベントや平成28年度に作成した二箇国語対応の観光マップを活用した観光モビリティマネジメントのPRイベントを実施



- ③ 情報発信の強化、区民や事業者をはじめとした各主体のネットワーク化を目的とした「伏見観光プロジェクトチーム」を立ち上げ、会議を開催(平成30年2月)

(平成30年度の方針)

魅力あふれる観光資源がある伏見南部地域(旧伏見市周辺)への誘客を推進し、伏見地域における観光資源の総合的な活用による観光振興を加速するため、区民、事業者、大学などと連携して地域観光の充実に向けた取組を推進する。

(平成30年度の予定)

- ・地元の既存イベントとタイアップし、公共交通機関を利用した観光客の誘客イベントの実施

<参考>

JR 西日本において開催している「ちょこっと関西歴史たび」春季企画として「水と酒のまち 京都 伏見」を実施。



伏見「文化・観光の語り部創生」(新規)

(平成30年度の方針)

伏見の奥深い魅力や多様な観光コンテンツの発信力強化を目的に、文化・観光の語り部を育成し、区民自らが地域の魅力を知り、発信できる環境(担い手育成, 交流, ガイドマッチング)を整え、伏見ならではのクリエイティブツーリズムを実現させる。

(平成30年度の予定)

- ・語り部の育成を図るため、研修や交流会を開催
- ・語り部を活用した観光モデルコースを設定



2 健康長寿プロジェクト

(平成29年度の実績)

- ・伏見連続講座とタイアップした史跡めぐりや歴史ウォーキング等、計8講座のまち歩き事業を実施
- ・地域医療機関と連携したロコモ予防講座と健康展
- ・伏見区健康づくりサポーターの養成・育成・活動支援
- ・区役所及び地域等に出向いた健康教室の開催
- ・健康教室等の受講後の自主グループ支援
- ・若い世代に向けたがん予防と健康づくりの取組



事業名	内容	実施回数	参加者数
① げんき広場	健康づくりサポーターによる体操・健康情報の発信	79回	6,854名
② 伏見港公園等での健康づくりサポーター活動のPR活動	体操の実施など、健康づくりサポーター活動の発信	5回	120名
③ 区役所で開催する健康教室等	ロコモ予防、骨粗しょう症予防等に関する講話・実技	5回	326名
④ 地域等へ出向いて行う出前型健康教室	熱中症予防、ロコモ予防、禁煙相談、メタボ予防、骨粗しょう症予防に関する講話・実技	12回	421名
⑤ 食育セミナー	バランスの良い食事・エネルギーコントロール・野菜摂取に向けた講話・調理実習	9回	175名
⑥ 伏見ふれあいプラザ、神川健康・福祉まつり・お薬フェスタ等地域で開催されるイベントブースでの健康づくり啓発の取組	健康測定、血圧測定、健康相談、災害時の食事づくり、健康づくり関連パンフレットの設置	5回	700名

(平成30年度の方針)

住民自らの健康づくりを目的に、地域の特性に応じた健康づくり事業や地域医療機関と連携した取組を進めるとともに、地域の支え手としても活躍できる健康づくりサポーターの養成・育成等に取り組む。



(平成30年度の予定)

健康長寿プロジェクトでは、関係機関とタイアップした商店街での健康講座の実施や20～50歳代の働く世代や子育て世代を対象に、「理想のからだづくり講座」を実施する。また神川地区における医療機関と連携したロコモ予防の運動教室を実施する。

3 子どもはぐくみプロジェクト

(平成29年度の実績)

- ・伏見指月城の遺構の発掘体験（「伏見連続講座」との連携）
「伏見城跡発掘調査体験と伏見人形の色付け」を開催（参加26組）
- ・子どもの貧困の実情や取組事例について学ぶ連続講演会の開催
講師：幸重忠孝氏（幸重社会福祉事務所代表）



開催日	参加者	内 容
10月3日（火）	83名	子育て講演会「子どもの貧困について考える」
10月31日（火）	76名	活動事例報告—伏見区での取組から—
11月21日（火）	80名	対談「子ども貧困対策」—当事者を交えて—

(平成30年度の方針)

地域や関係機関等と行政が連携し、次代を担う子どもたちを地域や社会の宝として大切にはぐくんでいくための取組を推進する。

今年度は、体験講座やホームページの開設、学校との連携・協働による思春期教室の拡大等、次世代はぐくみプロジェクトの更なる推進を行う。



(平成30年度の予定)

- ・歴史的・文化的資産を活用した体験講座
- ・現在年1回発行している「子育て支援情報誌」や乳幼児向けのイベントカレンダー等の情報をリアルタイムで閲覧できるホームページの開設(新規)
- ・中学生を対象とした、性感染症・妊娠・出産・子育て等について学ぶ思春期教室の実施校拡大



4 伏見をさかになにざっくばらん（愛称「ふしざく」）

(平成29年度の実績)

- ・17チーム（うち新規7チーム）による区民主体の活動が展開
- ・全14回開催、述べ870名が参加



(平成30年度の方針)

伏見に縁のある方々が、「伏見を盛り上げたい」、「伏見の魅力を発信したい」などの伏見への思いをざっくばらんに出し合い、テーマごとにチームを立ち上げ、区民主体のまちづくり活動につなげる。



(平成30年度の予定)

- ・SNS等を活用したチーム活動の発信力の強化
- ・伏見区民活動支援事業への申請サポート等、チーム活動のステップアップへの支援

5 向島ニュータウンの活性化

(平成29年度の実績)

- ・「向島まちづくりビジョン推進会議」を4回開催
- ・向島二の丸小学校及び二の丸北小学校の一次統合
- ・向島中央公園のリフレッシュ事業を開始
- ・向島まつり2017－2018『春のこどもまつり』の開催

(1) 各ワーキンググループ（以下「WG」）の主な取組

ア 魅力発信・商業地賑わいWG（6回開催）

向島まち歩きマップの作成，観光ヘリツアーの開催，駅前での野菜マルシェの実施等

イ 住環境WG（9回開催）

住環境パトロールの実施，横断防止柵の塗装作業等

ウ 子ども若者支援WG（6回開催）

キッズキッチンの開催，学習会の開催等

エ 暮らし・安心WG（4回開催）

まちの保健室の開設，高齢者複合施設やバザールカフェの視察等

オ 防災・防犯WG（防犯3回，防災9回開催）

「我が家の避難計画」の作成，市営住宅空き住戸の避難所活用に向けた検討等



(2) 向島ニュータウン地域団体活動ステップアップサポート事業

ア 活動スタートアップ支援枠

- ・向島及び向島ニュータウンの魅力・賑わいのための組織づくり
- ・多様性のある居場所づくり等に向けた各団体との連携及び地域住民への理解促進

イ 活動アップグレード支援枠

- ・向島まつり事業

ウ 活動融合支援枠

- ・地域情報化事業（地域FM放送やタウン誌による情報発信を行う仕組を構築）

(平成30年度の方針)

平成29年3月に取りまとめた「向島ニュータウンまちづくりビジョン」に基づき，ビジョンの進行管理等を行う「向島まちづくりビジョン推進会議」（以下「推進会議」という）や，具体的取組を行うWG等により，ビジョンの実現に向けた取組を進めている。

(平成30年度の予定)

- ・推進会議やWGの地域での主体的運営に向けた継続支援
- ・小中学校敷地の活用方法の検討や中国帰国者等と住民の交流促進，まちのイメージづくりと情報発信等
- ・向島ニュータウン地域団体活動ステップアップサポート事業による継続支援